

黒蝶倶楽部

連載シリーズ vol. 1



烏賊松

この世は不思議に満ちている

期せずして常人とはかけ離れた能力を有した人間がいる事を心してほしい

黒蝶倶楽部

ここはそんな不思議な力を持つ9人のメンバーが

夜な夜な自らの能力を使った体験談を語り合う秘密クラブである

人智を超えた力を持った時、人はその力を何に使うだろうか？

いや…そんな事は改めて問うまでもないだろう

人間は欲望に正直な生き物だ

さて……

今宵、秘話を披露してくれるのは……

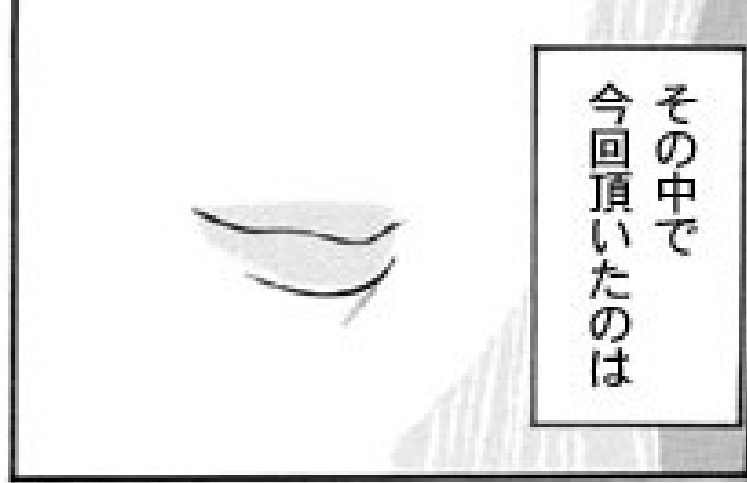
誰かな？



俺の標的になったのは
今や天下無敵の
アイドルグループと
なった

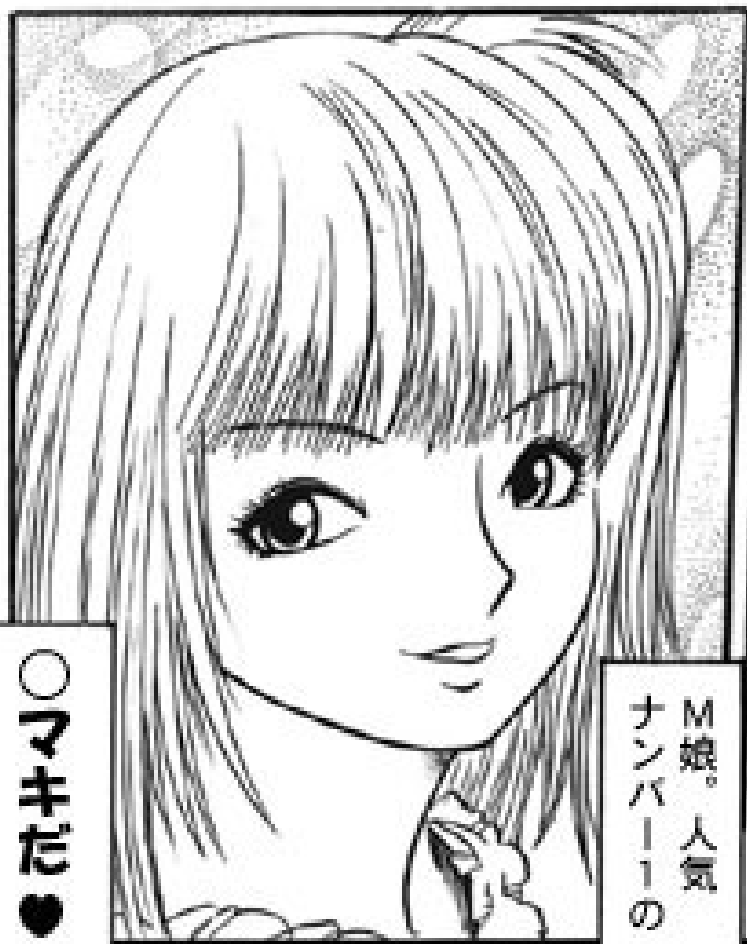


その中で
今回頂いたのは



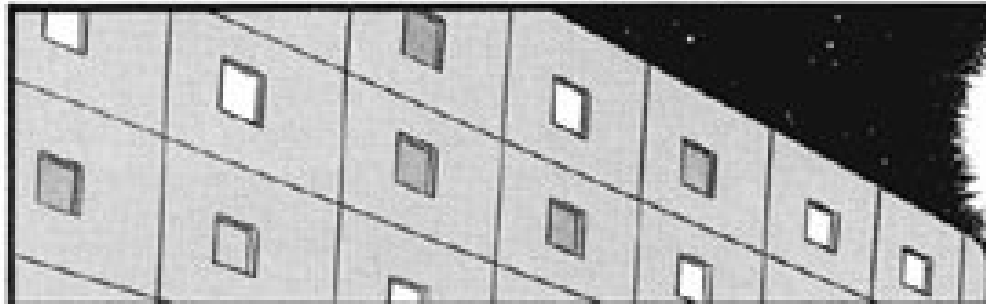
**M
ニ
ン
グ
娘。**

M娘。人気
ナンバー1の

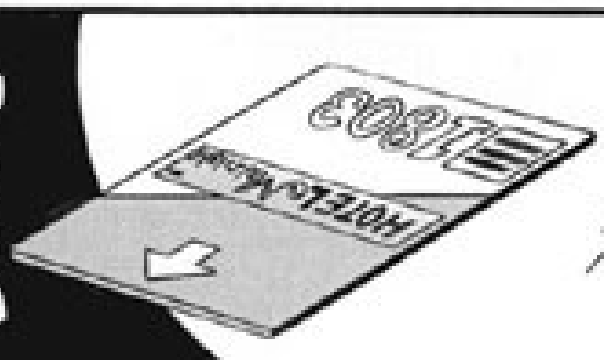


○マキだ●

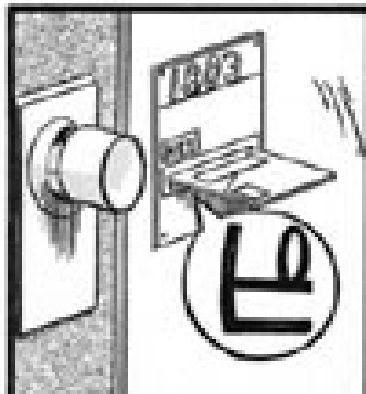
その日M娘。は
TVの収録で
メンバー全員が
某ホテルに
投宿していた



ふんわが



ふんわが



フロントで
部屋のキーを
拝借し



俺は
○マキの部屋へ
侵入した



幸いにもメンバ―
はそれぞれ個室を
与えられていて



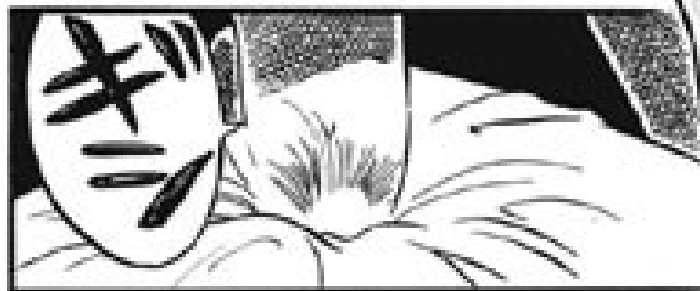
部屋に忍び込んで
さえしまえば
こちらのモノだった

俺は人目を気にせず
どこへでも大胆に
入り込める

そう――



俺は
透明人間に
なれるのだ

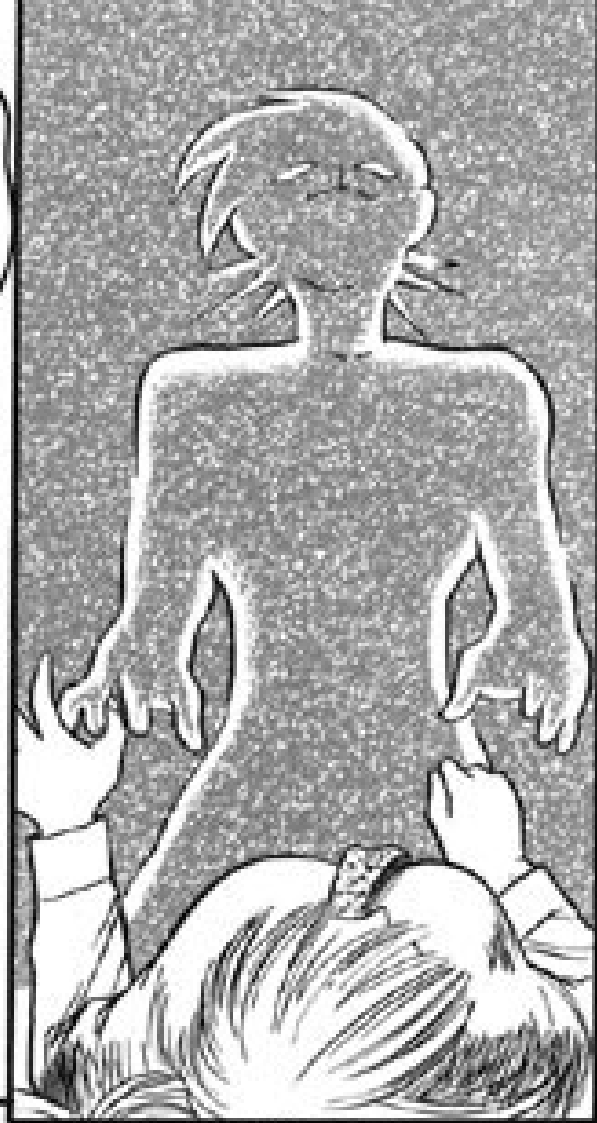


お..
重い..

ううん
.....

ズン

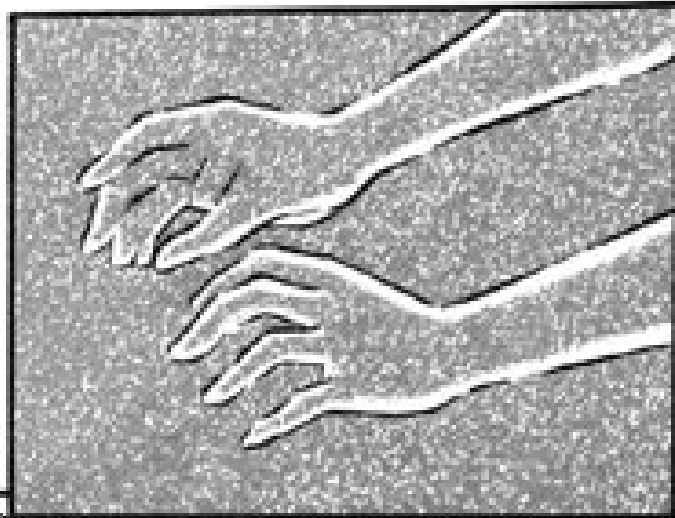




な...なに
こし...



金持...
.....?



い...い!!



あう!!



○マキは必死で抵抗したが所詮は女の力…

男の力に適うはずも無い……

ヒリヒリヒリ

きゃあああっ

それにさすがはM娘が泊まるホテルだ

多少大声で叫んでも声が外へもれる事は無い

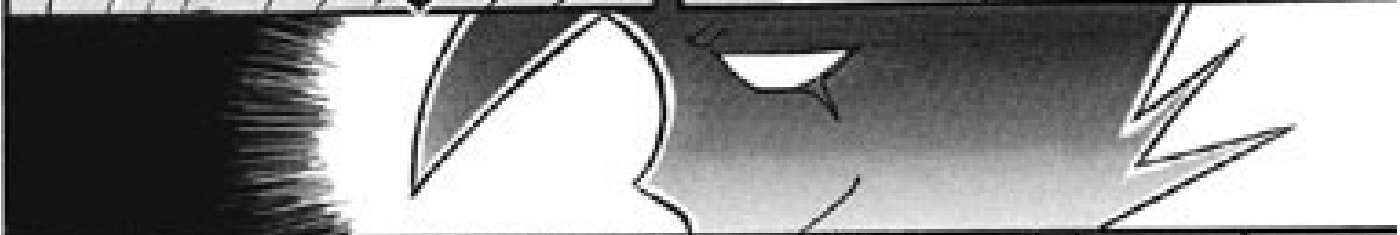
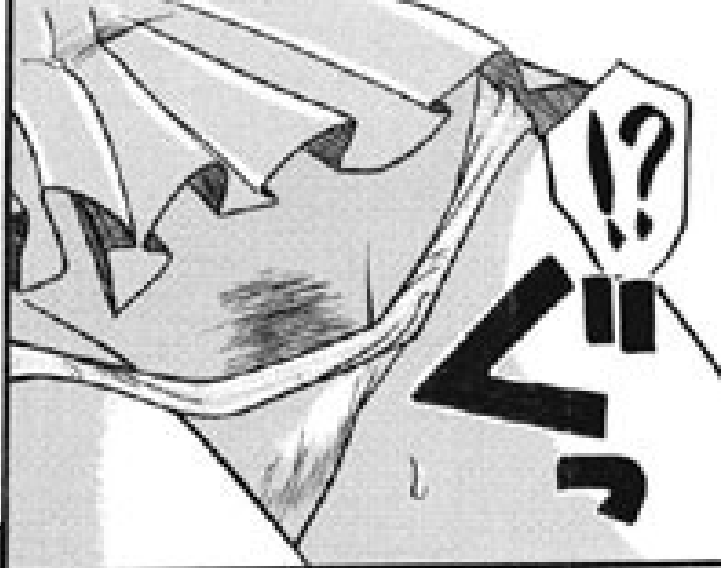
ああん!

○マキの
おっぱいは
大きくはなかったが

形の良さと
敏感な乳首が
舌先を楽しませて
くれた

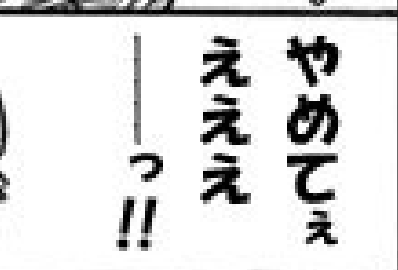
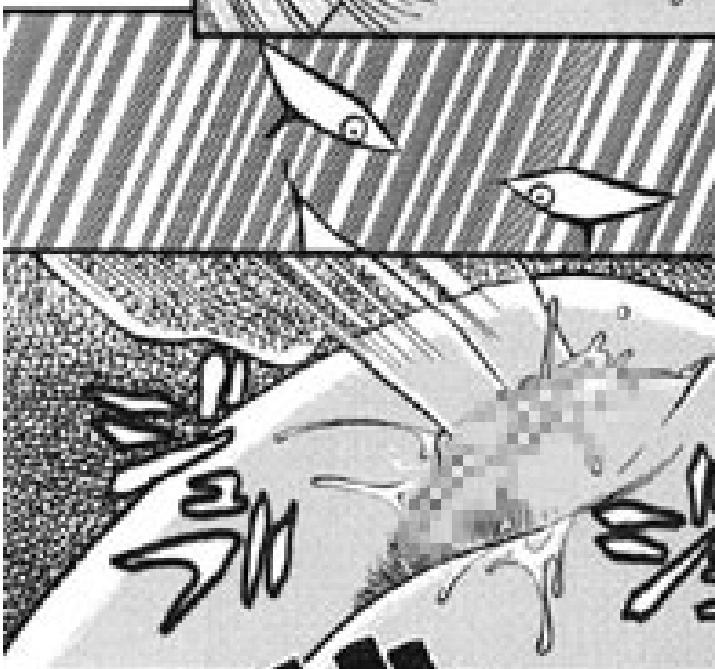
は…

あーん



さ…さ…さ…

だめえ





あらかじめ
部屋のドアは
針金で完全に
固定しておいた
から

外へは絶対
出られないように
なっていたのさ

そして俺は
○マキをベッドへ
連れ戻し
朝までたつぷり……



しかし
……

絶対出られない
その部屋から
君はどうやって
出て来たんだ?

ふふふ……

忘れ
ちやうた

